

# 枯渇 汚染 TSMC 進出で地下水は大丈夫？

・・・ 田村貴昭衆議院議員と現地調査・住民意見の聞き取りを実施 ・・・

## 【地域の声】 地下水の枯渇は、農業にも影響

Tさんは、菊陽町でニンジンや米等を栽培されています。100mの井戸を掘って、ポンプで地下水を汲み上げ、農業用水にされています。「地下水が減少すれば、枯渇とまではいかななくても、ポンプで汲み上げること

が難しくなる」と、心配されています。

1日12,000トンという約5万人の飲料水に匹敵する地下水の汲み上げは、74万市民の水道水への影響に止まらず、様々な分野に影響すると思われま

## 大規模な開発と、今から起こっている渋滞問題

工場予定地周辺は、この1年大幅に車の通行量が増え、生活道路への影響もあり、通学時の事故の心配もあります。

現在工事がすすむTSMC周辺には、すでにソニーや東京エレクトロンがあり、約1万人が従事、隣接する駐車場には7,000

台が駐車しています。

TSMCやその第2工場の誘致は、周辺地域はもちろん熊本市域にまで深刻な渋滞の影響が予想されます。



## TSMCとの「地下水協定」、確実な実行に残る不安

今回の自治体等と企業の地下水協定は、水田湛水へ企業の財政支援が定められています。

白川中流域では、これまでも熊本市・大津町・菊陽町水循環型営農推進協議会の「白川中流域水田湛水推進協定」に基づく水田湛水による地下水涵養事

業が実施されてきました。

さらに12,000トンの汲み上げに対し、どの程度の湛水事業が必要となるのか、具体策もなしでは、住民の不安に応えることはできません。



【控室から】  
文化芸術への積極的支援を  
上野 みえこ

コロナ禍を経て、久しぶりに熊本バレエ研究所の「サマーバレエコンサート」を観に行きました。県下にある研究所の発表会とあって、大がかりな舞台に、東京シテイバレエ団からゲストも迎え、小さな子どもたちから大人まで多彩な出演者による舞台は、素晴らしいものでした。

熊本バレエ研究所は、コロナでしばらくお休みになっていますが、オーケストラの生演奏や児童合唱団の生コーラスの入った「くるみ割り人形」を毎年上演してきた、地域文化創造の拠点としての実績を持つ研究所です。

バレエは、舞台の総合芸術と言われますが、地域の中で、素晴らしい生の舞台芸術に出会えることは、本当に素晴らしいことだと思います。

すべての人が素晴らしい文化芸術に触れ、日々の暮らしを豊かに送ることができるようにも、文化に対する国や自治体の積極的な支援は欠かせません。欧米と比べ、桁違いに少ない文化予算を増やして、創造団体へも、鑑賞団体へも、支援を拡充していかなければならないと思います。




上野みえこ (中央区)

いせり栄次 (東区)

**日本共産党**  
**熊本市議会だより**

NO. 1332  
2023年7月30日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

熊本市中央区手取本町1-1 メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
発行: 日本共産党熊本市議団 HP: 共産党 熊本市議団



検索

## 第65回自治体学校 in 岡山に参加

# 厳しさが増す自治体をめぐる状況どう打開するか？

7/22~24の3日間、自治体学校が岡山市で開催。社会保障の削減や、マイナンバーカードの強制など国民いじめの政治が強まるなか、全国から自治体職員や議員、研究者など3日間延べ2000人超が参加。

非正規化、民営化、デジタル化の推進で自治体はどこに向かうのか。打開の道はどこにあるのかという問題意識をもって参加してきました。議員になって初めての参加でしたが、地殻変動が起きている岸本杉並区長の話など、とても参考になりました。今後の活動に生かしていきます。(市議会議員井芹栄次)

### 岸本聡子杉並区長の記念講演



区長就任から1年。「公共の再生」「草の根の民主主義と自治」を掲げて、まだ、聞き覚えのないミュニシパリズム…行き過ぎた市場化・民営化で失った公共財（commons）を取り戻す住民運動を掲げ、共感を広げています。

### 投票率を上げ女性議員が過半数になり大きな変化

変化の主体は女性と若者の投票率をあげること。4月の選挙で女性議員が半数になって大きな変化が生まれている。・公共の空間を増やす・子育て政策の充実(学校給食の無償化など)・公営住宅の充実・民営化ストップ。

※脱炭素社会、人間中心、女性活躍の地域社会・地域経済の実現。

・ゼロカーボンを中心とした街づくり・地域経済にケアワークを大切にし、賃金をあげるなど。

※自治体職員が地域の住民と一体となって自治の能力をあげていく。民営化の本質は、お任せ主義。これでは職員の能力は育たない。※「街づくりは人づくり」、民営化でなく民主化を。とてもエネルギッシュな区長さんでした。

### 【特別講演①】暮らしから考える自治体行政のデジタル化…本多滝夫 (龍谷大教授)

政府が進める「デジタル化」は、行政の持つデータの民間活用が狙われていること、「自治体の情報システムの標準化・共通化が進められ自治体の縮小、削減が迫られる」などデジタル化を無批判に受け入れたら大変な事態になると警告。さらにマイナンバーは将来、監視国家の容認につながると危険性を指摘しました。

### ②地方自治体が直面する課題への挑戦…岡山県真庭太田市長

地産地消型、いわゆる地域循環型の地域経済を確立している素晴らしい実践例でした。

その一番は、バイオマス電力です。地域資源を生かした回る経済の確立。ゼロカーボンシティ、子どもはぐくみ支援、健康、福祉を支え合うなど。高齢者人口は多いが、介護認定者は少ないなど、語り切れない政策の工夫がすごいです。ぜひ視察に行ってみたい自治体でした。

岡山の市電は120円と140円の2本立て。路線は短いかな。でも安い。

